



まちのできごと

2/2 若草保育所「豆まき」 鬼はそと、福はうち

2月2日の節分の日に若草保育所で豆まきが行われました。園児たちが遊戯室に集まっていると鬼が登場。園児たちは、職員から配られたボールを鬼に目掛けて「鬼はそと、福はうち」と投げていました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、豆ではなく柔らかなボールを使った豆まきでしたが、園児たちは一生懸命ボールを投げていたので、鬼は最後に「参りました」と観念していました。



↑鬼に向かってボールを投げる園児たち

↓1年生に作り方を教わりながら工作をする子どもたち



2/8 一日入学（雄武小学校） 学校が楽しみ

4月から雄武小学校に入学する子どもを対象に、学校生活を体験する一日入学が雄武小学校で実施されました。授業の体験では、教室で1年生と一緒に松ぼっくりを使ったけん玉を作るなど、楽しそうに工作を行い、体育館では簡単な運動にも挑戦しました。参加した子どもは「楽しかった。学校が楽しみ」と4月からの学校生活が待ち遠しいようでした。

↓段ボールベッドを作る参加者たち



2/19 令和2年度地区別避難所運営体験（沢木地区） 防災意識の向上に

地区別避難所運営体験が、沢木住民センターつどいで実施され、地域住民21人が参加しました。段ボールベッドやパーティションなどの避難所運営体験のほか、町保健師による手指消毒体験やオホーツク総合振興局職員、網走地方気象台、網走開発建設部の職員による防災などの講話が行われました。参加者は「避難するときのことを考えると避難所にどういうものがあるか知っているだけで全然違うと感じた」と防災に対する意識が向上しているようでした。なお、1月には幌内地区で実施されております。

2/20 児童センタースポーツ大会 掛け声で息を合わせて

児童センター前で、スポーツ大会「雪中綱引き」が開催されました。この日は暖かく、朝から雨が降っており、溶けた雪に足を取られて悪戦苦闘するチームが続出しました。2本先取のチーム戦で行われた綱引きは、男子中心のチームでも足を滑らせて負けてしまい「次は負けない」と悔しそうにしている場面もありました。表彰式では優勝チームが拍手でお祝いされ、児童たちは嬉しそうな笑顔を浮かべていました。



↑一生懸命に綱を引く児童たち

↓夜空を彩る花火とアイスキャンドル



2/6 キャンドルナイト ・風の子花火大会 冬の夜空を彩る

旭日公園で「キャンドルナイト」と「風の子花火大会」が開催されました。

公園内には、バケツや風船で作成されたアイスキャンドル約350個が、通路沿いなどに配置され、キャンドルの淡い明かりが園内を照らしました。

同日に開催された「風の子花火大会」は、コロナ禍の影響で中止となってしまった「子ども冬まつり」の代替イベントとして企画され、子どもたちに楽しんでもらうことと、町民を勇気づけるために、例年の約1.5倍となる約1200発の花火が冬の夜空を彩りました。

3/1 第70回 雄武高校卒業証書授与式 14人が卒業

この日、雄武高校で卒業証書授与式が挙行され14人の生徒に卒業証書が手渡されました。

式では保護者や在校生などに祝福され入場した卒業生が晴れやかな笑顔を見せていました。

校長先生や来賓から激励の言葉が贈られ、石井町長からは「強い意志と困難に挑戦する勇気をもって、小さく固まることなく、自分の可能性を信じ、目標に向かって邁進されることを願っております。」と卒業生に向け言葉が贈られました。

卒業生代表の答辞では、3年間の思い出やお世話になった方々への感謝、これから雄武高校を担う在校生へ言葉が贈られました。式が幕を閉じ卒業生は思い出の校舎を巣立っていきました。



↑保護者や在校生などに祝福されながら入場する卒業生